

国際協力事業団
インドネシア国 居住・地域インフラ省水資源総局

インドネシア国
ムシ川流域総合水管理計画調査
最終報告書

要 約

平成 15 年 9 月
(2003年)

株式会社 建設技研インターナショナル
日本建設コンサルタント株式会社

本報告書は、プロジェクトコストを含めて特に記載のない限り 2002 年 9 月価格で表示されている。これらの価格の一部は、2002 年 9 月 16 日時点での通貨換算率として、以下の値により算定されている。

通貨換算率

US Dollar (US\$) 1.00 = Indonesian Rupiah (Rp.) 9,035

Japanese Yen (¥) 100 = Indonesian Rupiah (Rp.) 7,405

2002 年 9 月 16 日 (インドネシア銀行)

序 文

日本国政府は、インドネシア国の要請に基づき、同国のムシ川流域総合水管理計画にかかる開発調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施いたしました。

当事業団は、平成 14 年 7 月から平成 15 年 9 月までの間、3 回にわたり株式会社 建設技研インターナショナルの佐々部圭二氏を団長とし、株式会社 建設技研インターナショナルおよび日本建設コンサルタント株式会社から構成される調査団を現地に派遣しました。また、国土交通省北海道開発局の馬場仁志博士を委員長とする、作業監理委員会を設置し、本調査に関し専門的かつ技術的な見地から検討・審議が行われました。

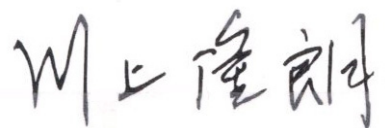
調査団は、インドネシア国政府関係者との協議、地域住民へのパブリックコンサルテーションを行なうとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好・親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成 15 年 9 月

国際協力事業団
総裁 川上 隆朗



伝 達 状

国際協力事業団
総裁 川上 隆朗 殿

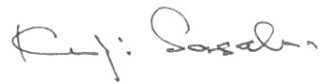
今般、インドネシア国におけるムシ川流域総合水管理計画調査が終了いたしましたので、ここに最終報告書を提出いたします。

本調査は、貴事業団との契約に基づき、株式会社 建設技研インターナショナルおよび日本建設コンサルタント株式会社の共同企業体が、平成 14 年 7 月から平成 15 年 9 月までの間に実施してまいりました。今回の調査においては、インドネシア国の現状を十分に踏まえ、西暦 2020 年を目標年次とした、実現可能なムシ川流域の総合水管理にかかるマスター・プランの策定に努めました。

なお、同期間中、貴事業団を始めとして、外務省、およびその他の機関の関係者に多大な協力を賜りましたことについて、この機会を利用して、厚く御礼申し上げます。また、現地調査期間中、インドネシア国政府の居住地域インフラ省水資源総局、南スマトラ州水資源サービス、およびその他関係機関よりいただきました協力と支援について深く感謝いたします。

貴事業団におかれましては、本計画の推進に向けて、本報告書を大いに活用されることを切望する次第です。

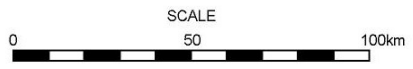
平成 15 年 9 月



株式会社 建設技研インターナショナル
ムシ川流域総合水管理計画調査
団長 佐々部 圭二



凡 例	
	ムシ川流域界
	幹線道路
	道路
	河川
	州境
	県境
	線路
	州都
	県都/準県都
	小都市



調査対象位置図